

京阪沿線魅力再発見2024

ぶらり京都と森めぐり

京都の美しい山・川など地域資源を活かし、文化・観光振興を目的として、
それぞれの分野に精通する講師がわかりやすく解説する、
講演やフィールドワーク、展覧会を開催します。

歴史講座 明治天皇伏見桃山陵と献木

明治45年(1912)7月30日の明治天皇崩御に伴い、陵墓地は京都府紀伊郡堀内村(現京都市伏見区)の伏見城跡に決定されました。9月15日の埋葬に間に合うよう陵墓造営や参道工事が突貫で進められました。その後も伏見桃山陵の整備は段階的に進められ、土木工事だけでなく、多数の献木が行われました。本講演で伏見城築城前から伏見桃山陵整備までの伏見城跡の植生の変化、東京への陵墓誘致運動、伏見桃山陵への献木の様相などについてお話をします。

2024年10月19日(土) 13:00~15:00(12:30開場)

募集受付 京阪電車WEBサイト

締切: 10月11日(金)まで



若林 正博 氏

会場/アートエリアB1(京阪電車なにわ橋駅地下1階コンコース)

講師/若林 正博 氏(京都府立京都学・歴史館) | 定員/150名 | 参加費/無料

主催:京阪ホールディングス(株) 共催:アートエリアB1

ガイドウォーク 鴨川デルタ 水の聖地をめぐる

京都の市街地を流れる鴨川は京都の人々の生活を支え続けてきました。なかでも鴨川デルタ周辺は市民の憩いの場であり、今も多くの人が集います。鴨川デルタから下鴨神社、京都府立植物園にかけて緑と歴史豊かな空間を巡り、京都の自然と歴史に思いを馳せてみませんか。

2024年11月17日(日) 10:00~12:00※雨天決行、荒天中止

集合場所/京阪電車出町柳駅改札前 | 受付時間/9:50~10:00

講師/京都産業大学鈴木ゼミ5期生、鈴木康久(京都産業大学現代社会学部教授)、

肉戸 裕行 氏(京都府立植物園 副園長) | 募集人数/20名 | 参加費/無料

主催:京阪ホールディングス(株)、京都府立植物園、京都産業大学鈴木ゼミ



募集受付 京阪電車WEBサイト

締切: 11月5日(火)まで

スタート
10:00

出町柳駅

鴨川デルタ

下鴨神社

鴨川散策

京都府立植物園前解散

ゴール
12:00

約3キロ、約2時間

歴史講座 京都の山と花

「山紫水明」という言葉があるように、京都は四方を山に囲まれた盆地を形成し、まちのいたるところから、山や川を望め自然を常感じられ、長い歴史の中で様々な文化を生み出してきました。京都の長い歴史のうち、京都府立植物園は大正13年(1924)から100年間を見守っています。京都を代表する山や花をご紹介しますので、ぜひ現地でご覧になってください。

2024年11月17日(日) 13:30~15:30(13:00開場)

募集受付 京阪電車WEBサイト

締切: 11月5日(火)まで



肉戸 裕行 氏

会場/京都府立植物園 植物園会館多目的室(出町柳駅から バス植物園前下車 北へ徒歩約5分)

講師/肉戸 裕行 氏(京都府立植物園 副園長) | 定員/60名 | 参加費/無料 ※京都府立植物園入園料要

主催:京都府立植物園 共催:京阪ホールディングス(株)

◆申込方法

京阪電車WEBサイト

二次元バーコードにアクセスしていただき必要事項をご記入の上、ご応募ください。

<https://www.okeihan.net/burari/navi/form/>



[keihan.co.jp]/[movabletype.net]ドメインのメールが必ず受信できるよう設定をお願いします。

※応募多数の場合は抽選になります。1度に2名まで申込可能。当選の方のみ、開催前約1週間を目途にメールを送信いたします。

展覧会

京阪沿線魅力再発見2024「ぶらり京都と森めぐり」 京都府立植物園100年の歴史展

京都府立植物園は、大正13年(1924)の開園から今年で100周年の節目を迎えました。100年の歴史の中では、内国博覧会会場予定地から大正天皇御大典記念京都植物園としてスタートしましたが、数々の災害や戦後の進駐軍に接収されていた苦難の時期を乗り越え、戦後は新しく京都府立植物園として生まれ変わった歴史をふりかえます。また、日本初開花など珍しい植物や開園当初からあるヘリテージツリー(歴史的遺産樹木)の紹介と次の100年に向けた植物園の取り組みをご案内いたします。

2024年11月16日(土)▶▶12月7日(土) 12:00~19:00

会場/アートエリアB1(京阪電車なにわ橋駅地下1階コンコース) | 入場無料 | 休館日/月曜日

ギャラリー トーク

2024年11月23日(土・祝) 13:30~

講師/肉戸 裕行 氏(京都府立植物園 副園長) | 定員/20名(当日先着順) | 参加費/無料

主催:京都府立植物園 共催:京阪ホールディングス(株)、アートエリアB1



京都府立植物園開園100周年記念事業

国際シンポジウム 人と自然の共生—植物園の役割

10月6日(日) 10:00~16:10 会場:京都府立京都学・歴史館

世界遺産に登録されている3つの植物園が全て集結。植物多様性の喪失という今日の世界的課題に向き合うため、世界の植物園は様々な取組をしています。これからの植物園が何をすべきか、どうあるべきかを議論し、先進的な植物園の魅力や取組を京都から発信します。



プアイ・ヨーク・タン
(シンガポール植物園長)



トーマス・モロシノット
(パドバ植物園園長)



スーウェイ・ファン
(台北植物園長)



デビッド・ブライアント
(米国立熱帯植物園
コミュニケーション部長)

主催:京都府立植物園

京都府立植物園開園100周年記念事業

唐紙師トアキヒコ トークショー&ギャラリートーク

10月12日(土) トークショー/10:00~11:30

ギャラリートーク/14:00~

会場:[トークショー]京都府立京都学・歴史館

[ギャラリートーク]京都府立植物園 植物園会館展示室

令和6年に創業400周年を迎える日本唯一続く唐紙屋「唐長」を継承する唐紙師トアキヒコ氏と共に、京都の絶滅危惧植物などをモチーフとした文様を創作。植物と伝統文化である唐長文様の関係に焦点を当て、野生植物と伝統文化双方の可能性と未来について理解普及を図るトークショーを開催。

主催:京都府立植物園



京都府立植物園開園100周年特別記念展示

植物園のはじまりと100年の森

9月14日(土)~11月10日(日)

平日9:00~18:00/土日9:00~17:00

(休館日9/16・22・23、10/9・14、11/3・4)

会場:京都府立京都学・歴史館1階展示室

京都府立植物園のはじまりと100年の歩みを題材にした特別記念展示。植物園の設計に携わった寺崎良策技師が、同じく携わった明治神宮関係資料も、あわせて展示し、東西の都での森創りを紹介します。唐紙師 トアキヒコ氏とともに創作した文様なども合わせて展示。

主催:京都府立植物園、京都府立京都学・歴史館



京都府立植物園開園100周年記念フィナーレ事業

植物園アートナイトウォーク

10月中旬~12月下旬 会場:京都府立植物園

入場料:別途必要

※詳細は9月5日に公式サイトにて発表します。

100周年記念事業の最後を飾るイベントとして、通常夜間閉園している植物園を特別に開放し、生物多様性をキーワードに、植物同士の隠れたコミュニケーションを光と音で可視化するインスタレーションを展開。幻想的な空間での没入型の体験を通して、自然の存在、美しさを感じ、人と植物の関係性への気づきを促します。



フォーラム「京都丹波 あゆ街道」

12月7日(土) 13:30~16:00

会場:京都府立京都学・歴史館

美食家で知られる魯山人が、生きたまま東京の星ヶ岡茶寮へと運ばせた「京都丹波」・和知川の鮎。川の恵である鮎の魅力伝えることで、より多くの方々に京都丹波を訪れていただきたいとの願いを込め、大学生の企画運営での開催です。



企画:京都産業大学 鈴木ゼミ

京都の山と川

著者:鈴木康久(京都産業大学教授)、
肉戸裕行(京都府立植物園副園長)

平安京は桓武天皇が造営に際して「山が襟のように囲んでそびえ、川が帯のようにめぐって流れる要塞」とあると述べたように、「山と川」によって育まれてきた都です。本書は東山・北山・西山の三山と、鴨川・桂川・琵琶湖疏水などの歴史を紐解いてくれます。



京都府立京都学・歴史館

京都に関する資料を収集・保存・公開してきた「京都府立総合資料館」が、新たに「京都府立京都学・歴史館」としてオープン。京都学・歴史館は、誰もが京都の歴史や文化について楽しく学べ、交流できる施設です。

お問い合わせ:
京都府立京都学・歴史館 TEL.075-723-4831
三条駅乗換 京都市営地下鉄北山駅下車 徒歩約4分

